

竜胆

りんどう

2022年(令和4年) 12月20日 発行

昭和薬科大学附属高等学校・中学校 PTA 発行人 知念 武史
〒901-2112 浦添市沢岬450 ☎098-870-1852

印刷: iRYUKYU (写真: 広報部・学校・保護者)

PTA会報
第170号



解き放て衝動

花開け竜胆

2022.09
17(土)・18(日)
9:30~15:00
昭和薬科大学附属
高等学校・中学校



竜胆祭

-50th-

9月17日(土)~9月18日(日)

解き放て衝動 花開け竜胆

PTA広報部

りんどう祭はコロナ禍での中止が
 続き5年ぶりの開催でした。
 経験していない生徒が多い中、趣向を
 凝らした面白い角度の展開で楽しいもの
 ばかりでした。
 りんどう祭の様子をPTA広報部の写
 真からお伝えします。

(取材:照屋、仲嶺)

最後にになりましたが、PTA
 の皆様のご協力に感謝を申し
 上げますとともに、本「りん
 だう祭」の大成を祈念してあい
 さついたします。

令和四年九月十七日

「解き放て衝動 花開け竜
 胆」のスローガンのもと、本校第
 十七回「りんどう祭」が開催さ
 れるにあたり、「一言こあいさつ」を
 申し上げます。

本来ならば三年前に開催さ
 れるはずであった本「りんどう
 祭」が、コロナ禍のおおりに受け
 て、順延、中止を余儀なくされ、
 今回の開催となったものです。
 前回の第十五回「りんどう祭」
 から実に五年ぶりの開催になり
 ます(第十六回は中止)。

本校はもとより県内至る所
 でコロナ禍の勢いは止むことを
 知らず、本「りんどう祭」自体の
 開催も危ぶまれてきた状況で
 したが、関係する先生方をはじめ
 め生徒会とも連携を図りなが
 ら何度も議論を積み重ねて、つ
 いに開催までこぎ着けられたご
 苦勞に対して心から感謝を申
 上げたいと存じます。

言うまでもなく、三年に二度
 の開催となる「りんどう祭」は、
 人間関係の上手な形成に寄与
 するものであり、それはまた集
 団生活に所属しているという実
 感や連帯を深めることにも繋
 がり、ひいては公共の精神を
 培つてより良い学校生活を築く
 こと等々の大きな意義を持つも
 のです。

自分のクラスの出し物をどう
 するかに始まり、部活動仲間や
 有志を集めての舞台発表のあり
 方等はどう一つを取り上げてい
 こには様々な意見が噴出してい
 きます。生徒たちの議論は、「り
 んどう祭」の準備や舞台発表の
 練習を通して、異なる意見に耳
 を傾けながらそれぞれの発表
 テーマに沿った「りんどう祭」本番
 へと収斂(しゅうれん)されていく
 のです。そういう意味でりんどう
 祭とは、人間形成に必須となる
 協調性を培い、コミュニケーション
 能力を通して他者との交流を拓
 かせるなど、集団生活の中でしか
 得られない貴重な経験を深めて
 いくものでもあるのです。

ご来場の皆様におかれまし
 ては、クラスの出し物や舞台発
 表、エイサー発表等の一つひとつ
 にこうした生徒たちの真摯な
 営みがあるというところをご認
 識くださり、本「りんどう祭」
 を十分に堪能していただけた
 らと存じます。



昭和薬科大学附属高等学校・中学校
 諸見里 明 校長

竜胆祭

解き放て衝動 花開け竜胆
中学3年・高校1年

高校1年



1-A 思考を止めるな! ~FIND HER~



1-B ジブリジオラマとクイズ



1-C Trespure Hunt in America



1-D 高1Dが占ってもいいですか?!



1-E 四等分のE組

中学3年



3-A 転生したら白雪姫だった件



3-B ゲームクラフトセンター-BX



3-C 小さなワンダーランド ~この世界から脱出せよ!~



3-D 縁日 ~君がいた夏~

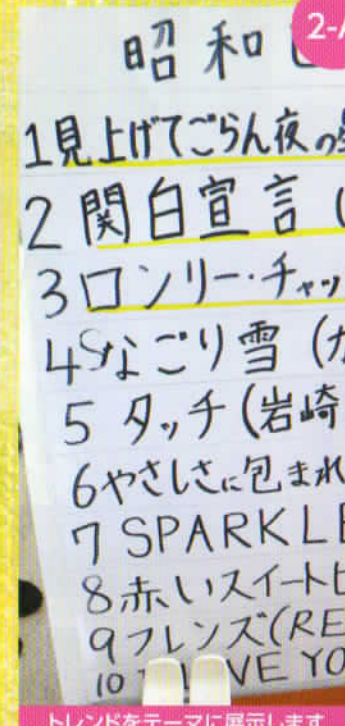


3-E ロマンチック映え映え縁日in3E

竜胆祭

解き放て衝動 花開け竜胆
中学1年・2年

中学2年



2-A 昭和
 1見上げてごらん夜の星
 2 関白宣言は
 3 ロンリー・チャッ
 4 なごり雪 (か
 5 タッチ (岩崎
 6 やさきに包まれ
 7 SPARKLE
 8 赤いスイート
 9 フレンズ (REI
 10 I LOVE YOU

2-A トレンドをテーマに展示します



2-B 2年B組のわくわく展示会



2-D 人狼カフェ

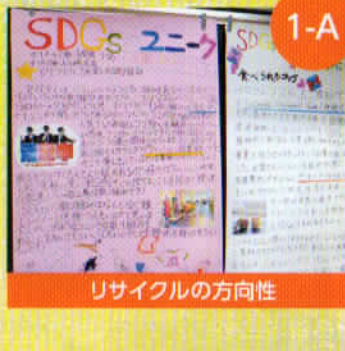


2-E 魅惑の森



2-C フォトスポットC

中学1年



1-A リサイクルの方向性



1-B SDGs劇場



1-D 50周年!!薬科ナソキ迷路



1-E MYトレンドwithピクトグラム



1-C



みんなのSF大脱出

ポイントが高かった上位3位

高校1年D組 高校1年C組 中学3年D組



昭和专业大学附属中学校
 生徒会長 手塚 瑛麻

こんにちは。中学生徒会長の手塚瑛麻です。本日はお忙しい中、第17回「りんどう祭」にお越し頂き、誠にありがとうございます。
 今回のテーマは「解き放て衝動、花開け竜胆」です。これは薬科の中高生から集めた中から選ばれたテーマです。
 今年のりんどう祭も、今日まで準備してきたものを発揮出来るように、皆で協力してやり遂げたいと思います。近隣の皆様のご協力もあり、今回のりんどう祭はとても素晴らしいものになっています。
 りんどう祭は、3年にたった一度しかない薬科最大のイベントです。生徒にとっても、訪れて下さった皆さんにとっても良い思い出になること間違いなしです。
 どうぞ最後までお楽しみください。

竜胆祭

～舞台、エイサー、部活～

私たちの奏でる音楽やダンス、演技があなたをその世界へ誘います

舞台



エイサー



部活



先生図鑑



PTA/バザー



竜胆祭

解き放て衝動 花開け竜胆

高校2年・3年

高校3年

3-B



薬科ぶらり旅

3-D



フォトスポット

3-A



平×成
～伝説のPROGRAM 時代はPROGRESS～

3-C



Hensel and Gretel

3-E



夜市

高校2年

2-B



祝五十周年
竜胆三十九景

2-D



映え処、始めました

2-A



モーリー・fantasy

2-C



VS昭薬・正門制作

2-E



化学基礎入門編



昭薬薬科大学附属高等学校
生徒会長
西平 峻

みなさんこんにちは、令和4年度高校生徒会長の西平峻です。2度の延期・中止を経て、今年いよいよ5年ぶりのりんどう祭が開催されます。私たちにとっても初めてのりんどう祭ということで、分からないことが多いですが、色々としりこみを重ね、様々な趣向を凝らして皆さんが楽しめるよう企画・運営を進めています。

現高校生にとっては最後のりんどう祭となるので、準備から全体見学まで大いに楽しんでほしいです。今回は中学生徒会との共同企画で仮想通貨として薬科ポイント、リンドウポイントを用いたポイント制を施行します。また、りんどう祭用のホームページを特設しますので、全学年のクラスごとに準備の段階から当日に至るまでの風景を写真で見ることが出来ます。今回は残念ながら外部による一般見学はありませんが、高2、3生のエイサーや部活動をはじめとする有志団体の数が多いので、例年なみ、あるいはそれ以上に盛り上がると思います。

りんどう祭を通して1つでも多くの思い出を作ってください。

高校1年 学年懇談会 10月1日

思春期のお子さんを持つご家庭の悩みへの一助として、性教育について講演会を開催。



「思春期の心と体の性について」という演目で、助産師・思春期保健相談士の笹良秀美先生に講演をして頂きました。沖縄県の具体的症例や先生の体験なども交えてお話ししていただき、高校生を持つ親としてとても興味深い内容でした。講演後の感想でも、性と向かい合うことの大切さや、子どもがどんなことに悩み、考えているのか、又、昭和の時代とはどのくらい変わってきているのかなどを知ることができ、とてもためになったと多くの保護者から感想をいただきました。 評議員 佐原 千春

中学2年 講演会 10月15日

砂川先生による進路講演会

「国語で学ぶ『家族』の意味」—教(ゆる)しあえる関係を目指して—



中学2年生という心身の変化が大きい時期に「家族の意味」・「家族として今できること」について深く考える機会を頂きました。学びに向かう力を磨く為のポイントは、大学受験のみならず、その後の人生における指標が凝縮されている内容で感銘を受けました。正解のない難問に対して、多角的視点で明快な講演を受講し「学びの楽しみ」を今授業で感じ得られる子ども達に羨望の気持ちを抱きました。砂川先生ありがとうございます。 評議員 眞喜屋 陽子

PTA役員と生徒会の懇談会 7月16日開催

りんどう祭やスクールバス、校則の件について話し合いました。直接生徒とPTAの間で意見を交えた有意義な懇談会でした。



学校給食試食会 6月15日

学校給食がどのようにして作られていくのかを学んでいただき、安全安心な学校給食について理解を深めていただくため、学校給食試食会を実施しました

メニュー：(主食、主菜) あんかけ焼きそば(副菜) さつまいも天ぷら(汁物) アーサ汁、牛乳



PTA研修会

7月16日(土)PTA研修会が開催されました。新型コロナウイルス感染防止対策で、会場を多目的ホールと第一体育館教室に分けて開催致しました。部会や学年評議員会で今年度の活動予定について話し合われ発表がありました。



令和4年度

新入生歓迎球技大会 中学

6月22日(水) 本校第一体育館・第二体育館にて

生徒の相互意識を高め、役割を決めて自己責任を果たし、協力してクラスの団結を図る。また、ルールを理解し、公正な判断力や安全に活動する能力、態度を養うために開催されました。

中学球技大会結果

1年

男子ドッジ1位/B組 女子ドッジ1位/E組
男子バスケ1位/E組 女子バスケ1位/B組
混成バレー1位/D組
総合1位/E組 2位/B組 3位/C組

2年

男子ドッジ1位/A組 女子ドッジ1位/E組
男子バスケ1位/A組 女子バスケ1位/D組
混成バレー1位/A組
総合1位/A組 同率2位/D組・E組

3年

男子ドッジ1位/B組 女子ドッジ1位/D組
男子バスケ1位/E組 女子バスケ1位/E組
混成バレー1位/D組
総合1位/B組 同率2位/D組・E組

兄弟学級優勝/E組(51点) 2位B組(48点) 3位D組(45点)



令和4年度

夏季球技大会 高校

6月22日(水) 那覇市民体育館 1階メインアリーナ

新入生との親睦をはかり、生徒の相互協力の意識を高め、役割を決めて自己責任を果たし、協力してクラスのまとまりをはかることを目的として開催されました。

高校球技大会結果

	1位	2位	MVP
男子バレー	高2E	高1C	新川 柊 (高2E)
女子バレー	高1A	高3C	知念 夢乃 (高1A)
混成バレー	高2D	高3B	中村 拓磨 (高2D)
男子バスケ	高3E	高3D	粟国 志琉 (高3E)
女子バスケ	高2C	高3D	寺田 愛莉 (高2C)



PTAソフトバレーボール大会 11月5日

さわやかな汗を流し、会員相互の親睦を深めよう



ハッスルプレー推薦書

中1 金城 文緒
動きも軽やかナイスプレーでした!!

高1 比嘉 愛梨香
サービスエース連続6本、声だしNo.1。
チームのムードメーカー??
気合は誰にも負けません

バレー部 高2 友利 公昭
いつもより大きな声で盛り上げてくれた

職員 校長先生

中2 比嘉 香
あきらめない姿に胸キュンでした

高2 中村 芳
ケガを恐れず、飛び込む
プレーがすごかった

高3 照屋 利美
スライディングの女王

中3 當眞 真紀
声でチームを盛り上げるとともに、
最後の試合では、スーパーサーブで
連続得点を重ね、勝利を呼び込みました。

RANKING

優勝…高2

準優勝…職員 3位…バレー部

PTA会員の親睦を図る目的に、11月5日、ソフトバレーボール大会が開催されました。コロナ禍で自粛していた事業で、3年ぶりの開催となりました。各学年でチームを構成し、教職員チーム、生徒チーム(バレーボール部)の全8チームで試合を行いました。

優勝決定戦では、高2チームと職員チームでラリーの応酬が続く白熱した展開となり、校長先生の年齢を感じさせないプレーに会場も大歓声の中、優勝は、連携がバッチリの高2チームでした。おめでとうございます。

学校行事もオンラインが多く、久しぶりのリアルの行事となりましたので、皆さん積極的に声を掛け合って、親睦を図っていたのが印象的でした。おつかれさまでした。バレー部の皆さんも準備から片付けまで大会をサポートしてくれて感謝です。

取材 広報部 安座間

第28回 校内井論大会 7月14日

日常生活で抱いた思いや考え、日々の研究成果等を発表しました。

校内井論大会結果

最優秀賞…高野 琉海「決意表明」高校3年E組
優秀賞…玉城 日華梨「自分を見つめること」高校2年C組
優良賞…喜友名 孝明「生徒会長が言いたかったこと」高校3年D組

英語井論

Outstanding Speech Award賞(1名)
金城 葉月「Remove the invisible lids!」高校2年B組
Excellence in English Speech Award賞(2名)
石川 岳人「Updating the stereotype」高校1年D組
成田 結海「Japanese awareness of volunteers」高校2年B組



第6回 校内英語スピーチコンテスト 7月14日

English Speech Contest

日頃の学習で身につけた英語力を生かし、スピーチ発表を通して自分の意見を述べます中学1年から中学3年の全生徒

RANKING

1位 中3B 久場 長真

2位 中3E 名城 愛美 3位 中3B 太田 佳那



慰霊祭

平和を祈る



第二次世界大戦において、唯一、一般住民が地上戦を体験した沖縄では数多くの犠牲者が出ました。そして沖縄での戦没者の霊を慰めて平和を祈る日として6月23日を「慰霊の日」としました。ここ浦添沢岬においても同様に多くの犠牲者が尊い命を失いました。本校にはその戦没者達の慰霊碑があり、御霊を慰める為、毎年「慰霊の日」の頃には学校を代表して生徒会役員と教職員が慰霊祭を執り行っています。

第7回 世界のウチナンチュ大会 ボランティア 10月30日、11月3日

うちなーのシンカ、今こそ結ぶ世界の輪

沖縄セルラースタジアム那覇及び周辺施設でイベントにおける補助、通訳、受付、会場整理、イベントに関する説明、案内、などボランティアで大会に参加しました。



尚巴志ハーフマラソン ボランティア 11月6日

かち割り氷 爽快感お届け

尚巴志ハーフマラソン17キロ地点の南城市知念久原で高校、中学校の生徒約45人が「かち割り氷」をランナーに手渡しました。



『我が子のトラブル大丈夫!?』～成人年齢引き下げでの注意点～

本校の保護者でもあり、弁護士として多岐に渡り活躍されている「野崎 聖子」さんを講師へお招きし、録画配信にて行いました。親ができる事、保護者ができる事、トラブルにあったときの対処法などについてとても為になるお話をいただきました。

～アンケートからの質疑応答～

質問1 子供単独でのクレジット契約などで、親の知らない契約に関して、親に連帯保証等の責任は生じないのか？

回答 連帯保証をしますという意味表示をした場合は責任が生じる

質問2 ネット通販などで多いトラブルや気を付けることなどは？

回答 インターネットトラブルは殆どが泣き寝入りになることが多い

売り側が信用できるか見極めることが大事

質問3 ゲームキャラクターの交換詐欺といったインターネットトラブルの対処について？

回答 2の回答と同じ



第71回 全国高等学校PTA連合会大会 2022 石川大会

親から始める新時代の教育

PTA副会長 喜友名淳子

去る8月25、26日の二日間に渡り開催された「第71回全国高等学校PTA連合会大会2022石川大会」。沖縄では連日30℃を超える夏が続く中、朝夕はひんやりと心地良い秋風を感じる金沢での大会に諸見里校長、照屋広報部長と共に参加して参りました。

メインテーマ「輝く未来への礎」、サブテーマに「親から始める新時代の教育」を掲げた今大会では、今なお続くコロナ禍における教育環境、これからの続き、起こり得る気候変動、震災などにどう対処していくのか、「これから」を生きる子どもたちに向けて、親としてどう伝えていけばいいのかが、正に今直面している課題について学ぶ機会となりました。

1日目の分科会では、第一分科会「新時代の家庭教育」に参加させていただきました。慶應義塾大学総合政策学部教授の中富牧子氏、花まる学習会代表であり、NPO法人子育て応援隊むぎぐみ理事長の高濱正伸氏両氏の講演では、中富教授のデータを基にどんな環境の中で学業、スポーツ、人間関係など、子どもたちのやる気が出てくるのか、意識が上がるのかが目に見えて理解できとても興味深いものでした。

高濱氏は年代別（成長過程）に見る、子どもの世界の広がりの中で、その年代で一番影響を与える人間は誰なのか、父親母親がどう接していくべきなのか、大変分かりやすく、笑いも交えながらの講演でした。

2日目の記念講演では、(株)ファミリーマート顧問(前副会長、元社長)の澤田貴司氏が「やりたいことをやる」と題し1時間半に渡りパワフルにお話いただきました。

石川出身の澤田氏が幼少期に暮らしていた小さな山間の村での生活の事。他者に対しての礼儀、思いやりに対して大変厳しかったというお父様の話。澤田氏が27歳の時に父様が急逝された際、年齢、性別、職業に関係なく多くの方が弔問に訪れ、お父様に対しての感謝の言葉をかけてくださったんだとか。父親の人間としての大きさを感じ、そのことをきっかけに「利己から利他」の大切さを学んだそうです。

演題の「やりたいことをやる」というのは一見、自己中心的な言動にも取れます。「私は経営者なので、教育の点からは少しずれるかもしれませんが…」と前置きをして、澤田氏は自身の商社時代、会社経営の話、そして現職での話をしてくださいました。どの時代でもこれまでにない改革を試みてきた澤田氏は、自分が「やりたい」を実践する時には、必ず相手が喜ぶ事「利」になるかを考えたそうです。

自身が「やりたいことをやる」事で、「利他」になり、巡り巡って「利己」になる。ビジネス、教育関係なく、人対人の関係がある時にはどんな状況にも通ずる事ではないでしょうか。

企業のトップとして、社員に伝えるのは一番に「利他の精神」について。社員と話す機会を多く持ち、コンビニの加盟店の方から直接、意見希望を聞く機会を持ち、改善することで利用客に満足いただき、結果的に自分達に返ってくる。当たり前といえば当たりの事ですが、実践し続けることは容易ではありません。

情けは人の為ならず。会いたくても会えない辛さが身に染みて分かったコロナ禍だからこそ、自分に関わる他者の存在の大きさ、自分を取り巻く環境のありがたさを感じた講演となりました。

3年ぶりの現地開催となった大会には、この日を待ち侘びていた全国から集まった関係者の多くの笑顔を見る事ができました。講演会場の空気感、演者の息遣い、伝わってくる思い。改めて「リアル」開催の素晴らしさを感じることができた喜び。

全国から多くの方を招き、ソーシャルディスタンスを取りながらの会場づくりは大変なものがあった事でしょう。大会関係者の皆様に感謝の気持ちを申し上げ、併せて多くの学びの機会を頂けた事に感謝申し上げます。



令和4年度 那覇地区高等学校PTA連合会交流会

令和4年10月22日(土)

去る10月22日沖縄県教職員共済会館八汐荘にて那覇地区PTA交流会がありました。PTA副会長の喜友名淳子さんがPTA功労者表彰を受賞されました。



編集後記 PTA広報部/安座間 猛

PTA広報部の安座間です。持ち回りで編集後記を書くことになりました。

コロナ禍で自粛していた様々な学校行事が、開催されましたので、今号は、お届けする情報が目押しでした。

特にりんどう祭での子どもたちの楽しんでいる姿や輝く笑顔が印象的でした。写真を通じてお伝えできれば幸いです。

今後も学校行事の様子をお伝えしていきますので、ご要望、ご感想などありましたら広報部までお寄せください。